

平成30年度第2回 豊川市子ども・子育て会議 会議録（要約）

平成30年10月29日（月曜日）
午後1時30分～午後2時30分
於：豊川市役所 本23会議室

1 あいさつ

白垣会長によるあいさつ
（略）

2 議事

第2期豊川市子ども・子育て支援事業計画の策定について

【事務局説明の後、主な委員の質疑・意見及び事務局回答・説明】

- ・今回の調査票の案について、前回の調査票で国が作成した調査票イメージから変更した点について、まだ反映されていないということか。
（事務局）まだ反映していない。前回の調査票作成時も皆さんからのご意見等を踏まえ変更した部分があるので、そういったところでは変更していきたい。
- ・ポルトガル語などの説明は、調査用紙の冒頭に載せるのか。
（事務局）冒頭のページにいろいろ説明書きを載せるが、このどこかにポルトガル語などで「日本語が難しい場合には市役所にご連絡ください」といったように載せる。
- ・「これは市からのアンケートです」といった文章を封筒に書いておいた方が、回収率等のことを考えるともっと丁寧と思う。
（事務局）承知した。
- ・問 16-2「幼稚園利用の強い希望の有無」というところで「国の指示により追加」とあるが、何か意図はあるのか。
（事務局）これは、国が作成した「量の見込み」の算出等の考え方の中で、質問を追加するように、ということになっている。
- ・来年の10月から幼児教育の無償化は、おそらく政策の大きな転換になってくると思う。アンケートで、無償化になった場合にどの程度現時点で動きそうかといったような流れだけでも把握しておかないと、無償化等について認識されていない方がアンケートを答えられる可能性もある。
（事務局）おっしゃるとおりである。他市の状況等も参考にしながら考えていきたい。
- ・何か現時点で考えられる無償化される部分等を示した上でなければ、アンケートの回答者も正確には答えられないと思う。
- ・その辺は、政策等の施行のタイミングとこのアンケートのタイミングの関係もあると思う。
（事務局）国の資料を見ると、年少・年中・年長の保育料の無償化、また保育園の前だと2歳児で住民税非課税世帯というところと若干まだ1人目のお子さんだとお金がかかるということで、その1人目についても完全無償化といったことが挙げられている。
これ以外に幼稚園も関係あるところとして、預かり保育や認可外保育施設なども対象になるが、ただ幼稚園と認可外保育施設で保育

の必要性・支給認定をやっていかなければいけないといったことがある。

本当は保育園の対象でもあるのにその他の施設へやむを得ず行っている方の保育料を無償にすることなので、どうやってその辺りを判断するのか、今までは幼稚園の場合、園に申込をされてそこで預かり保育を頼むというかたちで最終的には補助金等ではかやりとりがないので、そこに行政がどのように関わるのか、といった実務的な問題が当然出てくる。

それを年度の途中で行うのだが、対象のほとんどが4月入所の保育料の決定を3月下旬に行うので、その時は通常どおりではできない。

それから、公式に無償化を進めるには、市の規則を改正することになり、そこで定めた段階で初めて物事が動いていくことになるので、広報だけでは足りず、特に幼稚園に入っておられる親御さんにはチラシ等を作成して周知をするといったことが必要になってくる。

また、認可外保育施設についても実際にどれだけのお子さんが利用しているのか分からないので、精査をしていかなければいけない。

いろんな課題が出てくると思うので、そこは精査をしていかないと、ケース・バイ・ケースで考えることも出てくるのではないかと思う。

- ・大雑把でもいいので、今回のアンケート調査の中で、その辺のところを部分的にも反映できれば、その結果次第で今後の対応を考えることもできる。

(事務局) 今回のアンケートのタイミングで、まだ決まっていない段階で、あまり誘導するわけにもいかない。

(事務局) その他何か意見があれば、後日ご意見票を提出いただきたい。いただいた意見も踏まえて調査票を仕上げていくが、改めて会議を開催するいとまが無いので、修正内容については、事務局にご一任いただきたい。

3 その他

(事務局より)

- ・育児休業明け保育所等入所予約について
- ・次回会議日程について